



ブルーカーボン生態系を育む

大気中から海水に溶けたCO₂を光合成によって吸収・貯留する、ブルーカーボン生態系の高いCO₂吸収能力が注目を集めています。そのブルーカーボン生態系の1つである藻場が、日本の沿岸海域で近年、磯焼けによって著しく減少・消失しています。

こうしたなか、日本製鉄は鉄分不足の磯焼けの海に鉄分を人工的に供給する鉄鋼スラグ製品ビバリー®ユニットを開発し、2004年から藻場を再生させる海の森づくりを推進。適用海域は全国44カ所に広がっています。

日本製鉄は2050年カーボンニュートラル社会の実現を目指す取り組みの一環として、これからも海の森づくりを展開し、SDGs目標13「気候変動に具体的な対策を」と同14「海の豊かさを守ろう」に貢献していきます。

特集 ブルーカーボン生態系を育む

4 新たなCO₂吸収源ブルーカーボン 日本の技術で世界をリードする

桑江 朝比呂 氏 (ジャパンブルーエコノミー技術研究組合 理事長)

8 ブルーカーボンを科学する シーラボ

12 鉄が失われた生態系をよみがえらせる

山本 光夫 氏 (東京大学大学院 農学生命科学研究科 准教授)

16 海の森づくり ブルーカーボン生態系を育む 鉄のチカラ

24 命のきらめきを伝えていきたい

尾崎 たまき 氏 (水中写真家)

26 会長対談

変化を恐れず、まずはやってみて、 仕事の面白さを見つけてほしい

大田 弘子 氏 (政策研究大学院大学 学長)

進藤 孝生 (日本製鉄(株) 代表取締役会長)

34 News Clip 日本製鉄グループの動き

日本製鉄株式会社 広報誌 季刊 ニッポンスチール
Vol.15 2023年3月17日発行
〒100-8071 東京都千代田区丸の内二丁目6番1号
TEL 03-6867-4111 <https://www.nipponsteel.com/>

編集発行人 総務部 広報センター所長 有田 進之介
企画・編集・デザイン・印刷 株式会社 日活アド・エイジェンシー

●本誌掲載の写真および図版・記事の無断転載を禁じます。
●本誌で記載されている機械特性などはあくまでも参考値であり、これを保証するものではありません。
●ご意見・ご感想は、WEBもしくは綴じ込みはがきでお寄せください。